

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

通信機器の修理・再生、開発・製造を主事業に「循環型社会の形成」に向け、通信機器・端末の修理並びに利用済み機器・端末を回収し、リデュース、リユース、リサイクルすることにより地球環境の保全に貢献する。
また、創業以来培ってきた確かな技術でお客様のお役に立てる、ご満足いただける商品の開発に努め、高品質と安全を全社が一体となって地域社会の発展に全力で取り組む企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	消費電力量の削減	2022年度実績より2024年度10%削減
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	事業継続・拡大に向けた設備投資	2026年度までに10百万円
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	年齢、性別、新卒・中途を問わない採用の実施	2023年度:0人 ⇒2026年度までに:3人

<パートナーシップ>

創業以来培ってきた技術を活かし、取引先や地域の困りごとの解消に積極的に取り組み、信頼関係を構築するとともに、従業員が安心して働ける、風通しの良い組織作り、職場環境の改善に努める。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	社会問題を解決するための新製品の開発、新サービスの提供	鳥獣被害防止、コロナウィルス感染症拡大防止、ロボット等新技術導入【2023年3月末】	当社が製造、販売するごみステーション設置により鳥獣被害の防止が図られている。
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 ※[中止理由] チャットボットサービスによる対応を計画していたが、NTT西日本の電話契約者数(固定網)の減少等に伴い修理依頼件数が激減し、問合せ件数も少なく、効果が期待できないことから開発を中止した。 ・取引先等からの外線電話対応のため「トビラホン」を導入し、着信電話の一時受付の対応中である。(2023年11月運用開始)	電話機修理に関する問合せをチャットボットサービスによる対応等【完了予定:2022年3月末】	チャットボットサービスによる対応の開発を中止した。 取引先等からの外線電話対応のため「トビラホン」を導入し、着信電話の一時受付の対応中である。(2023年11月運用開始)
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	障害者の採用及び性別・年齢等による差別のない昇進・昇格	【2023年度末までに実施】	障害者の応募がなく採用なし。 60歳以上高齢者4名採用。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。